

輸送動向について(4月分)

平成18年5月

1. 輸送概況

今月は、上旬に福島県から首都圏にかけ、強風による輸送障害が断続的に発生した影響等により、高速貨54本、専貨2本が運休となった。

新年度に入ってから荷動きは、上旬は災害の影響もあり、低調に推移したものの、中旬以降、比較的順調な輸送状況が続いたことと併せて、大型連休となったゴールデンウィーク前の貨物の先送り需要も強勢となり、月全体の輸送量では前年比100.9%と、わずかに前年を上回った。

コンテナ貨物では、清涼飲料水が大きく減送となった食料工業品その他、化学工業品等が前年を下回ったものの、北海道地区からの米の出貨が好調であった農産品、及び九州地区からの馬鈴薯の出貨が順調であった生野菜青果物、並びに自動車部品、紙パルプ等が前年を上回り、前年比102.1%となった。

車扱貨物では、灯油を中心に増送となった石油その他、石灰石等が前年を上回ったものの、3月のダイヤ改正から一部区間で輸送終了となったセメント、及び紙・パルプ等が前年を下回り、前年比98.9%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別	月 計		前年比
	本年実績	前年実績	
コンテナ	1,992	1,951	102.1%
車 扱	1,154	1,167	98.9%
計	3,146	3,118	100.9%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農 産 品	113	100	13	113.0%
	生野菜青果物	57	50	7	114.0%
	化学工業品	186	188	-2	98.9%
	化学薬品	150	146	4	102.7%
	食料工業品	304	319	-15	95.3%
	紙パルプ等	322	295	27	109.2%
	他工業品	137	135	2	101.5%
	積合せ貨物等	239	234	5	102.1%
	自動車部品	57	51	6	111.8%
	エコ関連物資	35	37	-2	94.6%
	その他	392	396	-4	99.0%
コンテナ計	1,992	1,951	41	102.1%	
車 扱	石 油	762	734	28	103.8%
	セメント	62	97	-35	63.7%
	石灰石	62	49	13	126.3%
	車 両	118	123	-5	96.0%
	紙・パルプ	32	46	-15	68.3%
	化学工業品	52	48	3	106.9%
	その他	66	68	-2	96.9%
車扱計	1,154	1,167	-13	98.9%	
合 計		3,146	3,118	28	100.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)